

平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月8日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL http://www.mac-house.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	8,912	△2.2	169	△32.9	195	△32.7	105	118.2
28年2月期第1四半期	9,115	0.7	252	143.4	290	76.3	48	6.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	6.86	6.84
28年2月期第1四半期	3.14	3.14

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	24,852	14,636	58.8
28年2月期	25,590	14,830	57.9

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 14,611百万円 28年2月期 14,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年2月期	—				
29年2月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,050	△1.3	350	17.8	360	0.0	70	6.3	4.56
通期	36,000	0.1	900	25.2	930	11.5	250	59.5	16.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年2月期1Q	15,597,638株	28年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	260,645株	28年2月期	260,645株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年2月期1Q	15,336,993株	28年2月期1Q	15,337,378株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年3月1日～平成28年5月31日)における我が国の経済は、企業収益の改善傾向、雇用・所得環境の改善傾向により、緩やかな回復基調が続く一方で、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れなど、先行き不透明な状況で推移しました。

競争激化が進む、中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、消費者の生活防衛意識は依然として高く、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況下におきまして、当社は成長を勝ち取るため、新たなビジネスモデルの確立を目指し様々なチャレンジを行っております。前期に引き続き既存店売上高の底上げが第一の課題であると考え、その実現のために、多くのお客様にご来店いただくとともに繰り返しご利用いただくための施策を講じてまいりました。

具体的には、継続して価値のある低価格商品の販売を強化するとともに、実需商品であるインナーレグウェアおよびレイン関連商品の充実を図っております。更に、「サプライズプロジェクト」企画として、「本格派Gジャン」を驚きの低価格と品質で実現したほか、「ダブルサプライズ」企画として、「ストレッチ・チノパンツ」&「ニットレギンス」、「ストレッチ・カラーパンツ」&「ジップパーカ・ロングカーディガン」を発売しました。新たな売上創出策としてのビジカジおよびオフィカジにつきましても、ジーンズを起点としたジャケットとのコーディネート販売により、多くのお客様に支持され、販売点数を伸ばしております。更に、旅行や出張に便利なアイテムを揃えた「NAVY TRAVEL」、個性豊かな5匹の猫をモチーフにしたウェアや雑貨を揃えた「Nyans World」を新ブランドとしてローンチしました。

販促面におきましては、モバイル配信およびチラシ掲載商品の低価格化により幅広いお客数に訴求しつつ、新聞広告掲載並びにLINE公式アカウントでの情報配信により、新たなお客様の獲得を図りました。

出退店につきましては、3店舗を新規出店した一方、3店舗を閉鎖し、当第1四半期累計期間末の店舗数は452店舗(前年同四半期比18店舗減)となりました。業態につきましては、「マックハウス スーパー ストア」から派生した新業態「マックハウス スーパー ストア フューチャー」を立ち上げました。「マックハウス スーパー ストア フューチャー」の店舗数は、2店舗の新規出店に加え、増床を伴う改装および移転により、既存店5店舗を業態変更し、7店舗となりました。

上記施策の結果、当第1四半期累計期間における既存店売上高は前年同四半期比1.9%増、既存店客数は前年同四半期比7.4%増となりました。なお、既存店売上高及び、客数は、11ヶ月連続で前年をクリアしております。

利益面につきましては、競争優位を獲得するための値引き販売増加により、売上総利益率は前年同四半期比で0.4ポイント減となりました。

経費面におきましては、不採算店舗閉鎖による削減により、前年同四半期比で1.1%減となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は8,912百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。また、営業利益は169百万円(前年同四半期比32.9%減)、経常利益は195百万円(前年同四半期比32.7%減)、四半期純利益は105百万円(前年同四半期比118.2%増)と最終増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ737百万円減少し、24,852百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ739百万円減少し、18,145百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,460百万円減少した一方で、売掛金が451百万円、商品が203百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1百万円増加し、6,706百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ543百万円減少し、10,215百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ528百万円減少し、7,858百万円となりました。これは主にファクタリング債務が440百万円減少した一方で、未払費用が187百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15百万円減少し、2,356百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ193百万円減少し、14,636百万円となりました。

これは主に四半期純利益を105百万円計上した一方で、剰余金の配当306百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は58.8%となり前事業年度末に比べ0.9ポイント増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月8日付、「平成28年2月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)及び事業用定期借地権付建物については定額法)を採用しておりましたが、当第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

当社において、これまでの設備投資の実績及び今後の投資計画に基づき保有する固定資産について再度検証した結果、主として出店及び改装等に係る店舗設備であるため、長期的に安定した稼働が見込まれる資産であり、店舗運営コストと売上の対応の観点から設備投資のコストを每期平均的に負担させる定額法を採用することが経済的実態を合理的に反映させるものと判断したものであります。

この結果、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の減価償却費が7百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ7百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,087	5,626
売掛金	462	914
商品	10,790	10,994
前払費用	305	320
繰延税金資産	180	140
その他	56	148
流動資産合計	18,884	18,145
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	121	118
建物附属設備（純額）	1,079	1,153
構築物（純額）	27	26
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	121	145
リース資産（純額）	12	11
土地	194	194
有形固定資産合計	1,557	1,649
無形固定資産	201	194
投資その他の資産		
長期前払費用	176	172
敷金及び保証金	4,166	4,110
繰延税金資産	597	558
その他	24	31
貸倒引当金	△19	△11
投資その他の資産合計	4,946	4,862
固定資産合計	6,705	6,706
資産合計	25,590	24,852

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,657	5,711
ファクタリング債務	835	394
未払金	296	289
未払法人税等	345	65
未払費用	714	901
賞与引当金	107	182
ポイント引当金	50	60
店舗閉鎖損失引当金	53	38
資産除去債務	17	17
その他	308	196
流動負債合計	8,387	7,858
固定負債		
退職給付引当金	1,392	1,383
転貸損失引当金	147	143
長期預り保証金	172	172
資産除去債務	611	613
その他	46	43
固定負債合計	2,371	2,356
負債合計	10,759	10,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	8,053	7,851
自己株式	△153	△153
株主資本合計	14,817	14,615
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△11	△3
評価・換算差額等合計	△11	△3
新株予約権	25	25
純資産合計	14,830	14,636
負債純資産合計	25,590	24,852

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	9,115	8,912
売上原価	4,753	4,679
売上総利益	4,361	4,233
販売費及び一般管理費	4,109	4,064
営業利益	252	169
営業外収益		
受取利息	3	2
受取家賃	76	75
その他	33	18
営業外収益合計	112	96
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	69	68
その他	4	1
営業外費用合計	73	69
経常利益	290	195
特別損失		
固定資産除却損	10	5
減損損失	40	43
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20	—
特別損失合計	70	49
税引前四半期純利益	220	146
法人税、住民税及び事業税	51	46
法人税等還付税額	—	△80
法人税等調整額	120	75
法人税等合計	171	41
四半期純利益	48	105

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日	当第1四半期累計期間 自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	2,606百万円	2,369百万円	90.9%	△237百万円
メンズボトムス	1,702百万円	1,723百万円	101.3%	21百万円
レディーストップス	1,136百万円	1,130百万円	99.4%	△6百万円
レディースボトムス	1,127百万円	1,122百万円	99.6%	△4百万円
キッズ	1,005百万円	969百万円	96.5%	△35百万円
その他	1,537百万円	1,595百万円	103.8%	58百万円
合計	9,115百万円	8,912百万円	97.8%	△203百万円

(注)「その他」はビジカジ、インナー・レッグ、雑貨等であります。